

いじめゼロ子どもサミットの開催について

平成19年2月6日
教育庁教育振興部指導課
電話 223-4054
総務部学事課
電話 223-2155

子どもたち一人一人が、主体的かつ自由な話し合いを通して、いじめについて自分自身の問題として真剣に考え、自ら「いじめ」をなくすことを目的として、「いじめゼロ子どもサミット」が開催されました。当日は、各学校で話し合ったことや取組んだことについての発表や、自由な意見交換が行われました。

また、いじめゼロ子どもサミット実行委員会の子どもたちが作成した「いじめゼロ宣言」が提出され、全会一致で採択されました。

1 日 時 平成19年1月25日（木）午後2時から午後3時20分まで

2 場 所 千葉県議会議場

3 参加者

(1) 学校関係

県内国立・公立・私立学校177校の児童・生徒（別紙1参照）

（引率教員、保護者を含め総数約400名）

(2) 県及び議会関係

知事、副議長、文教常任委員長、各会派代表（5名）

教育委員長、教育委員、教育長、教育次長（2名）

教育振興部長、指導課長、生徒指導室（6名）

総務部長、学事課長、私学振興室長

教育事務所（6名）、市町村教育委員会（56名）

4 内 容

(1) 開会

(2) 千葉県議会からのあいさつ

(3) 実行委員紹介

(4) 各学校からの発表・意見交換

① 県立佐倉東高等学校「いじめゼロに向けての取組」

② 袖ヶ浦市立根形中学校「いじめ撲滅集会報告」

③ 市川市立南行徳中学校「オレンジキャンペーン」

④ 浦安市立見明川小学校「いじめ追放宣言2006」

《主な質問・意見》

・南行徳中学校の取組に対して

「リボンは強制的につけさせるのか。」

「リボンをもらう時にはどのような約束をするのか。」

「リボンをつけない人はどういう気持ちなのか。」

・千葉盲学校の生徒から

「私たちの学校では、いじめがありません。なぜならば、みんないじめを経験し、いじめられる辛さがよく分かっているからです。他の学校でもいじめがなくなっほしい。」など。

(5) いじめゼロ宣言について

①実行委員会の子どもたちが作成した「いじめゼロ宣言」(案)の提出。
(別紙2参照)

②質問・意見

「四つの勇気をみんなに広めていきたい。」

「勇気をみんなに伝えたい。」

「実行委員会としてではなくサミット参加者一同として宣言したらどうか。」
など。

③採択(全会一致)

(6) 知事のメッセージ

(7) 閉会

《参加生徒の感想》

「いじめゼロ宣言のポスターを作って張り出したい。」

「参加して良かった。オレンジリボンのような目に見える活動をしていきたい。」

「サミットで、小学校から高校まで、いろいろな学校の意見が聞けて良かった。」

「サミットのことを学校に帰って、きちんと伝えたい。」など。

5 その他

今後は、サミットの成果を持ち帰り、それぞれの学校において、いじめゼロに向けた取組を展開します。

また、今回参加できなかった学校も含め、県内の全ての小・中・高・盲・聾・養護学校に対して、サミットで採択された「いじめゼロ宣言」を配付し、この宣言の精神が、学校、家庭、地域へと広がっていくよう努めていきます。